

令和7年3月19日

出張報告書

栗山町議会議長

鶴川和彦様

栗山町議会議員

齊藤義崇



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和7年2月20日
- 2 出張先 東京都
- 3 調査事項 地方議員研究会 研修会
- 4 関係書類 別紙のとおり



『地域の足』が無くなる？ 交通空白解消セミナー

講師 井原 雄人

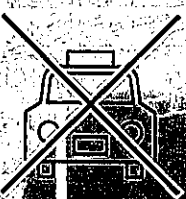
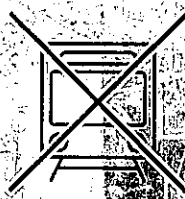
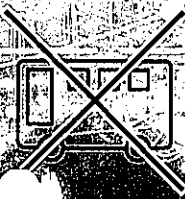
いはら ゆうと

早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授
合同会社ビジュアライズ 共同代表
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学
博士(学術・早稲田大学)

【紹介】

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の開発からそれらを活用した地域公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。

東京
開催



2025

1/16(木) 2/20(木) 3/26(水)

交通空白と地域公共交通の役割①

10:00~12:30

- ・用語の定義で役所に騙されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通の役割と課題
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

交通空白と地域公共交通の役割②

14:00~16:30

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

2025

1/17(金) 2/21(金) 3/27(木)

ライドシェアの基礎と課題

10:00~12:30

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開?
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー、コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・地域の足対策と観光の足対策

交通崩壊の解決策と各地の事例

14:00~16:30

- ・交通崩壊は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXGX新しいモビリティサービス

～地域からバス、電車、タクシーが無くなる?今地方議員が取り組むべき課題～

↑ FAX 050-6868-9679 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.or.jp

 FAX申込み書

申込書に記名の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。
参加される講座のチェックボックスへ ☒ してください。

in 東京

	1/16 木曜日	2/20 木曜日	3/26 水曜日		1/17 金曜日	2/21 金曜日	3/27 木曜日
交通空白と地域公共交通の役割① 10:00~12:30	☐	☒	☐	ライドシェアの基礎と課題 10:00~12:30	☐	☐	☐
交通空白と地域公共交通の役割② 14:00~16:30	☐	☒	☐	交通崩壊の解決策と各地の事例 14:00~16:30	☐	☐	☐

お名前	(フリガナ) サイ トウ ヨシノリ 齋藤 義崇	貴団体会名	栗山町議会 (二期目)
電話番号	(0123) 73 - 7517	FAX番号	(0123) 72 - 1233
E-mail	@		
領収書宛名	ご本人様名 ・ その他 ()		

会場の参加をせず、
資料等を郵送でのご希望の方は
チェックしてください

☐ 当日不参加(資料、USB動画データ、領収書 郵送希望)
動画データの無断転載等はないことに同意して申込みます
※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。
必ず欠席される方のみチェックしてください。

郵送先の住所 ※郵送希望の方は
ご記入ください

郵便 ()
番号 ()

開催場所 in 東京

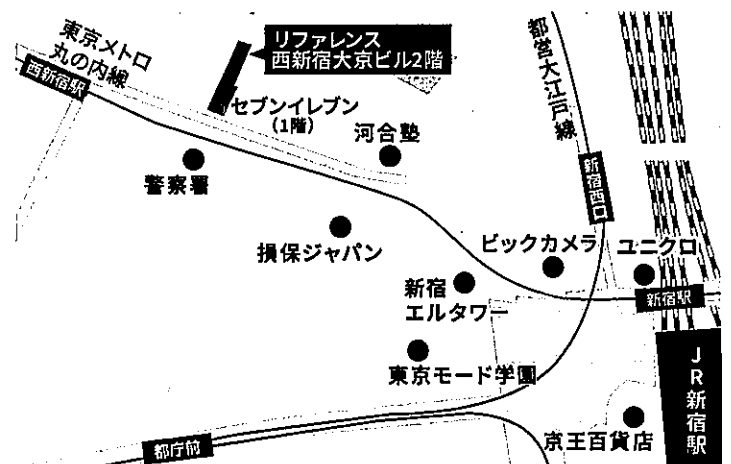
リファレンス西新宿大京ビル 2階

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3

- ▶ 東京メトロ丸の内線「西新宿」駅
【1番】出口より 徒歩1分
- ▶ 都営大江戸線「新宿西口」駅
【D4番】出口より 徒歩8分



Googleマップ



受講料

1 講座 15,000円(税込)

※チェックボックス1つにつき15,000円となります

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ
事務局

地方議員研究会

☎ 050-6868-9678

☎ 050-6868-9679

✉ mail@chihogiken.or.jp

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室

日 時	令和7年2月20日(10:00~12:30)(14:00~16:30)
視 察 先	地方議員研究会 (東京都新宿区西新宿7丁目21-3) リファレンス西新宿大京ビルにて研修会
調査事項	交通空白と地域公共交通の役割①・② (研修会を受講・参加)
対 応 者	10:00~12:30 14:00~16:30 講師 井原雄人 早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 電動車両研究所 研究員客員准教授
1. 視察目的	栗山町も公共交通が廃線などにより、不便さが増している。町営バスは運営されているものの、課題の多い施策である。研修を受けることで、何等かの解決に糸口を探り、一般質問や質疑に役立てたい。
2. 視察内容	「交通空白と地域公共交通の役割①」 10:00~12:30 最初に、地域の交通空白の課題を整理するために、種々のデータについて、課題の根拠となる理由について解説を受ける。講習のスライドでは金沢市と栗山町の統計情報も、事例として挙げられた。仕組みづくりの地域事例や、公共交通空白地域の拡大する要因について、詳細な解説がなされた。 「交通空白と地域公共交通の役割②」 14:00~16:30 交通空白を解決するために、前半は法律・制度・改正された交通のルールなど詳細に解説を受けた。後半は、課題解決のための制度を樹立するための、設計・計画・実務・統計数値や事業評価方法について、解説を受けた。
3. 主な質疑	終日研修において、講師に対して質疑は行わなかった。

4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	現在、公共交通の不便な現状を「公共交通空白」と呼んでいる。要因は人口減少と高齢化で、鉄道・バス加えてタクシーの利用頻度が減り、赤字から民間企業が地方ほど減ったためである。自治体がバス運営をしてもなかなか利便が感じられないという。我が町もそうである。この要因はまず、自動車に依存できない人の増加が、利便の良い都市への引っ越ししてしまう、といった課題にまで広がる。講師はその要因の一つに自動車で送迎する人の「送迎人生」を解消するという視点が重要である。また、公共交通を民間企業に任せてきたので、交通のプロが自治体職員に少ないことを指摘する。自治体職員も地方でも便の良いところに住んでいるので、実感も湧かないことも指摘した。 公共交通空白地域の人口・距離・必要な事項（買い物・通院等）について詳細に分析する必要を説く。地方運輸局には自治体情報が調査されており、参にしてほしいと述べた。またバス停まで歩けなくなった人についてや、タクシーのない町についても、定義と役割を整理しながら、解説された。 加えて上手な地域公共交通網のダウンサイジングや、公設民営のデマンド交通の可能性も示唆された。送迎用の車両を自治体が購入・所有し公設する。これを民間や町内会など幅広くルールを定めて、貸すという仕組みだ。これにより初期費用が軽減される。この方法では、運営自体は民に任せるという仕組みである。これは一つの手法であるが、成功している自治体もある。 この研修で学んだことを活かし、自治体域内や周辺への利便を向上させる施策を提案することで、不便を理由に栗山町外への転出する人口に対して、1つの対策を講じるきっかけづくりとなると感じた。また関連法律についての整理ができた。町内の現状も整理した上で、一般質問していきたい。
---------------------------------------	---